

前 奏 黙想	祈 禱
招 詞 イザヤ書 55:6~7	讚 美 歌 355 主を仰ぎ見れば
讚 美 歌 31 わがみかみよ、ひるもよるも	献 金
祈 禱	讚 詠 547 いまささぐるそなえものを
信仰告白 使徒信条 566	黙 禱
聖 書 出エジプト記 13:11~113	主の祈り 564
マルコによる福音書 11:7~11	頌 栄 540 みめぐみあふるる
讚 美 歌 354 かいぬしわが主よ	祝 禱
説 教 『ベタニアの子ろばに乗って』	後 奏

「二人が子ろばを連れてイエスのところに戻って来て、その上に自分の服をかけると、イエスはそれにお乗りになった(マルコ11:7)」。イエスは子ろばに乗って城壁都市エルサレムに入城する(11:11)。エルサレムはユダヤ人が拠り所にする聖都であると同時に、嫌悪蔑視するローマ帝国という「力」に屈服している都市であった。あらゆる時代に、支配と隷属、希望と憎悪、信仰と権力が交錯して沸騰して古代都市。ローマ帝国の高官や将校らは馬に乗り、辺りを睥睨しながら入城したのであろう。そしてこの時は子ろばに乗ってポテポテ入城するイエスを、人々が讚美で迎えている(11:9~10)。これは権力への当てつけなのだろうか。「力」どころか、神的なものへの皮肉をも読み取ることができよう。

家畜の雄初子はすべて「主のものであり、主にささげなければならない(出エジプト13:12)」。「ただし、ろばの初子の場合はずべて、小羊をもって贖わねばならない。もし贖わない場合は、その首を折らねばならない(13:13)」。つまり小羊で贖罪しなければ、初子のろばは殺処分せよ、と。ろばは庶民には有用だが、神は好まないらしい。エルサレム市民は、馬のような調子で子ろばに乗って入城したイエスを嘲笑しただろう。そしてファリサイ人や律法学者らは憎悪をいっそう燃やした、と想像できる。「栄光の都へ、神が否としたろばに乗って入るとは、主なる神への信仰をコケにしてやがる」と。

それでは自分の服や葉のついた枝を道に敷いて(マルコ11:8)「ホサナ。主の名によって来られる方に、祝福があるように(11:9)」と熱烈歓迎した人々は、エルサレムの住民ではないのか。想像を拵げると、「ケガレた者」としてエルサレムから追い払われた者たちじゃないか。高台にあるエルサレムと、谷を隔てた東隣のオリーブ山。この麓の村ベタニア辺り(11:1)の民かもしれない。「イエスはエルサレムに着いて、神殿の境内に入り、辺りの様子を見て回った後、もはや夕方になったので、十二人を連れてベタニアに出て行かれた(11:11)」。一行はエルサレム市街ではなく、辺鄙なベタニアに泊まった。

「ベタニア」とはどんな場か。イエスは「ベタニアでらい病の人シモンの家において、食事をした(14:3)」。イエスは「らい病人」と共に食事をし泊まることもあった。この家には、らい病人仲間や「罪人」の他に「高価な香油」を注いだあの女も出入りしていた(14:3)。差別され虐げられたベタニアの民。イエスによって神の愛に目覚めた民が、大事な子ろばをイエスのためならば、と提供してくれた(11:6)。

律法に従いうる余裕あるエルサレム市民には、ろばなど「神に拒絶された動物」。だが貧しく虐げられた民にとっては生きていく上で必要な家畜。イエスはそんな子ろばを求め、ベタニアの民がそれを差し出した。あの台地には神殿がある栄光のエルサレム、ここベタニア村は虐げられた者たちの場所。権力と権威を象徴する馬ではなく、ろば、それも「子ろば」だ。このコントラストに注目したい。

神殿儀式から排斥され「神の救い」に与り得ない者たち。そんな民に歓迎されたイエス(11:9~10)。教会はキリストの体なのに、ともすれば「教え」に拘泥してエルサレム神殿の側に傾く。しかしイエスがエルサレムにやって来たことで、神の御心がどこにあるのかいっそう明らかになった。子ろばだ、ベタニアだ。私たちの力や栄光ではなく、弱さや死にキリストは宿り給う。さりげなく、確実に。

ろばの背には荷が載せられる 荷物のように子ろばに乗っているイエス 子ろばだから道草も食う エルサレムへは子ろば任せで 弟子も子供のように道草食いつつ 長閑さと危機が混合する受難節
3/12(水)12:00~2:00 エステル会。3/15(土)1:30~3:30 メディカルカフェ。牧師の動き:3/12(水)と3/15(土)の午前YMCAで聖書のおはなし。3/13(木)甲府刑務所で午前集合教誨・午後個人教誨。

礼拝堂・集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメールは komechan.olive@gmail.com HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。